

Sustainable Tourism



Hostelling International
Discover the real hostel experience

※ Hostelling International は世界各地のユースホステル協会とユースホステルで構成された非政府 / 非営利の国際組織です。

便利さゆえに環境に影響をもたらすプラスチック

2020年7月にレジ袋が有料化されてから「出かける時には買い物用のマイバッグを鞆に入れておく習慣がついた」という方も増えているのではないのでしょうか？

レジ袋やペットボトル、食品トレーなどプラスチック製品は、変形・変色・劣化といった変質を起こしにくく、安く大量生産が可能のため私たちの生活には身近な存在になっています。しかしこの「変質しにくい」という点、裏を返せば「簡単には分解されない」ということ。「ペットボトルは自然に分解されるまでに400年以上の時間を要する」といった研究結果(※1)も報告されています。[※1NOAA / Woods Hole Sea Grant]

今さまざまな企業や団体がプラスチック製品のリサイクルに積

極的に取り組んでいますが、一部の不法に投棄されたプラスチック製品による海洋汚染が世界的な問題になっています。特に細かく砕けたマイクロプラスチックは海洋生物の体内に蓄積され彼らの生態系に悪影響を与えることはもちろん、海産物を食べる私たち人間の体にも蓄積され、結果的に私たちの健康にも影響することが懸念されています。

このプラスチック製品をめぐる問題、私たち観光業界も他人事ではありません。家ではコップを使って飲み物を飲んでも、旅先では手軽なペットボトル飲料を買ってしまう、という方も多いのではないのでしょうか？日常を離れる「旅」は、プラスチック製品に触れることの多い機会でもあるのです。

サステイナブル(持続可能)な未来を目指して—— 世界各地のユースホステルで取り組みを始めています。

私たち Hostelling International は、サステイナブルツーリズムにおける長年の経験と実績により、このたび国際連合および国連世界観光機関(UNWTO)がエレン・マッカーサー財団とともに主導する「世界の観光のプラスチックに対する取り組み」に正式加盟組織として調印しました！新型コロナウイルス感染症の流行にともなって、使い捨てのプラスチック製品の需要が高まっているため、プラスチック製品の使用を完全にやめることは簡単ではありません。そんな中でHostelling Internationalは、ユースホステルで使用されるプラスチック製品が全てリサイクル可能、あるいは堆肥化が可能なものになることを目指して、全世界で深刻化するごみ問題に真剣に取り組んでいます。今回は、世界各地のユースホステルにおける、プラスチック製品削減に向けた取り組みを紹介します。



Emilia Prodea

**Quality and Sustainability
Senior Executive
(Hostelling International)**

2018年、Hostelling Internationalネットワークの国際総会にて、使い捨てプラスチックの削減と食品ロスの削減という2つの動議が成立しました。翌年2019年からはアドバイザーグループの一員として「世界の観光のプラスチックに対する取り組み」に参加してきましたが、今回晴れて正式加盟組織として調印できたことを大変嬉しく思います！Hostelling Internationalは、今後も世界各地のユースホステルにて、プラスチック製品の使用の制限または廃止、そして食品ロスへの対策を行い、サステイナブルな旅の実現に向けて積極的に取り組んでいきます。

ユースホステルのプラスチック製品削減の取り組み

Railway Square YHA (オーストラリア)

オーストラリアのシドニーにあるRailway Square YHAユースホステルでは、プラスチック製のカードキーに代わって、木製のおしゃれなカードキーを採用しています。プラスチック製のものよりも長期にわたって使うことができ、環境にも優しくサステイナブルなカードキーです。



Stayokay (オランダ)

オランダのユースホステル協会では、ペットボトル飲料の販売を取りやめ、代わりに繰り返し使えるウォーターボトルの販売を始めました。オランダの水道水は匂いもなく安心して飲めるので、ユースホステル内に自由に使える給水スポットを設置しています。また、空きペットボトルの回収も積極的に行い、プラスチックごみ問題に対する啓発活動を続けています。



Hualien Wow Hostel (台湾/中華台北)

台湾の花蓮にあるHualien Wow Hostel は、木材、コンクリート、石、廃材などを再利用した、レトロなインテリアが評判です。デザイナーのChengWei Chiang が風水や禅の概念をユースホステルのデザインに取り込み、様々な材料を有効に活用してプラスチックの利用を最小限に抑え、Hualien Wow Hostel をサステイナブルで暖かい空間に仕上げました。



Take Action!

プラスチック製品削減のために今日からできること

- ① 外出する際には、マイバックを持ち歩こう！
- ② 旅行には、マイボトルを持って行こう！
- ③ 旅行には、マイ箸も持って行こう！
- ④ 旅先で食べ歩きを楽しむときは、なるべくプラスチックではなく紙製のお皿を選ぼう！
- ⑤ 使い捨てプラスチック製品を全く使わずに旅ができるか挑戦してみよう！

CHECK!

「世界の観光のプラスチックに対する取り組み」に関する Hostelling International の取り組みはこちら(英語)。



<http://blog.hihostels.com/2021/07/hi-has-become-a-signatory-of-the-global-tourism-plastics-initiative/>

「世界の観光のプラスチックに対する取り組み」に関する国連世界観光機関の説明はこちら(日本語)。

<https://unwto-ap.org/plastic/#--text=%E4%B8%96%E7%95%8C%E3%81%A2%E8%A6%B3%E5%85%89%E3%81%A8%E3%83%97%E3%83%A9%E3%82%B9%E3%83%81%E3%83%83%E3%82%AF%E3%81%AB%E5%AF%BE%E3%81%99%E3%82%8B%E5%8F%B9%E7%B5%84%EF%BC%88GLOBAL%20TOURISM%20PLASTICS%20INITIATIVE%EF%BC%89>





つづきをダウンロード(無料)



Hostelling Magazine vol.26
まとめてダウンロード



Sustainable Tourism P18



Cover Interview P02
堀 未央奈



おしえて！旅GIRL P20



Youth Hostel Pick up P08
高社山麓みゆきの杜ユースホステル
旅に魅せられたマネージャーがつくる、
こだわりとアイデアの詰まったユースホステル



松島むうの晴れときどき旅びより P21



Hostelling Magazine x 地球の歩き方 ... P12
そろそろ旅の準備を始めよう！
Germany -ドイツ-



YOUTH HOSTEL LIST P22



LiLiCoの映画で世界を旅しよう！ P16

発行所：一般財団法人日本ユースホステル協会
編集・発行人 寺島眞
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
国立オリンピック記念青少年総合センター内
※本誌の情報は2021年9月20日現在のものです。
変更になる場合がありますので、お出かけの前に現地にお確かめください。
※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。